

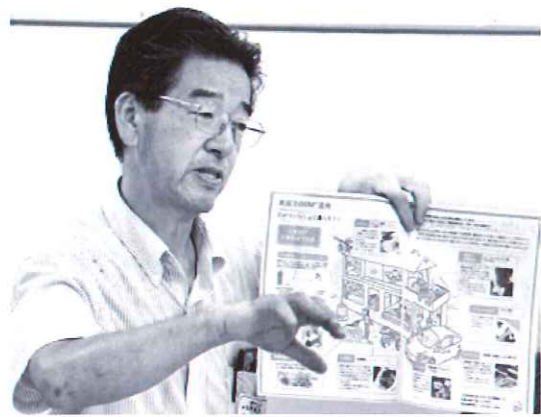
今回ご紹介するのは…

# 刈谷市民会議

市民活動団体の今を紹介する  
**クローズUP**  
No.003



19年前、刈谷青年会議所の呼びかけにより刈谷市民会議が立ち上がり、「環境」「まちづくり」「親子ふれあい」の3つの委員会が市民団体の自主的な活動としてスタートしました。その活動を当初からリードし、支えてきた代表の杉浦伸司さんに今の市民会議の活動を紹介します。



▲杉浦伸司さん

1997年刈谷青年会議所の呼びかけで、刈谷市をより良くするために市民としてどのように関わることができるのかと自発的に集まった市民により始められました。責任ある市民として「自分たちのまちは自分たちで作りあげていこう」「子供たちの未来のために今私たちができることから行動していこう」を合言葉に行政に働きかけること、市民自らが取り組めることなどを話し合う中で、環境浄化を中心に活動するようになりました。利便性と快適さを追求する今の生活が環境を悪化させ、このままでは子どもたちの未来を奪いかねないと思い、市民生活を見直すきっかけになることを願って「環境にやさしい

ライフスタイルの啓発」や「自然環境を保全する活動」をしてきました。活動の中心はEM（有用微生物）を利用することにより自然の浄化能力を高め、環境浄化・保全することです。薬師川では毎月第3土曜日午前10時からEM団子を作り、ヘドロに埋めたり河川と周辺のゴミ拾いをする清掃活動を行っています。また水質・生物調査など環境調査も適宜行っています。今では刈谷市環境支援員の会や刈谷南中学校ボランティア部、近隣住民をはじめとして多くの皆様に参加協力していただけるようになりました。この輪がますます広がることを願い活動を続けていきます。



▲川にEM団子を投げている様子



▲わんさか祭りに出展



▲デンソーエコレンジャーの方々と一緒に活動



▲EM団子作り

## イベント告知

薬師川浄化活動  
毎月第3土曜日10時~11時半  
1月度 1月21日(土)  
2月度 2月18日(土)

当日は、あいにくのお天気で小雨の降る中での活動でしたが、会の趣旨を伺い、EM団子を作りました。参加者が、各々のボランティア活動の話しながらの作業が、とても楽しそう、10年以上も続いている活動の源なのかなあと思えました。数年前まで、ヘドロで泡がぶくぶく出ていたの

に、徐々に透き通って砂地が見えてきたそうです。化学薬品を使うのではなく、微生物で少しずつきれいにしていく地球にやさしい活動ですが、皆さんの地道な活動が成果になっていることを感じました。水遊びのできる川を私も楽しみにしています。

加藤 智子

行っまきました！  
スタツブレポート

## 活動内容

子どもたちの為により良い刈谷づくりに取り組む市民グループです

- ①EM（有用微生物）を利用した河川浄化活動
- ②ゴミの堆肥化などを利用した無農薬有機栽培を目指す市民農園
- ③EMを利用した田畑の浄化支援
- ④小中学校の池の浄化、トイレの清掃などへの支援
- ⑤わんさか祭り、社教センター学習発表会での「環境、まちづくり、学校教育等の啓発活動」など



▲学習発表会での様子

## お問い合わせ

住所/ 刈谷市新栄町2-28  
連絡者/ 杉浦伸司  
TEL/ 0566-24-0855・090-3383-0300  
FAX/ 0566-24-2255  
E-mail: butudan@katch.ne.jp  
URL: <http://genki365.net/gnkk/mypage/index.php?gid=G0000037>